

近代英語協会第31回大会

日時：2014年6月28日（土）

会場：日本大学文理学部 百周年記念館2階 国際会議場

受付開始 9:10～

開会の辞 9:50～10:00

シンポジウム 10:00～12:00

会長 立正大学教授 児馬 修

「統語構造と線形順序 — 語順をめぐる」

司会：法政大学教授 大沢ふよう

「語順と語強勢の変化 — OV から VO へ」

札幌大学教授 時崎 久夫

「英語史における名詞句内語順の変化 — 対称性から非対称性へ」

法政大学教授 大沢ふよう

「英語史における人称代名詞目的語の語順変化 — 媒介変数値の変化の観点から」

鶴見大学准教授 宮下 治政

総会 12:40～13:10

研究発表 第一部 13:15～14:35

司会：安田女子大学教授 中川 憲

1. 「ウルフの意識の流れ技法の分析」

— 語り手による情報制限と間接話法に含まれる直接話法の要素」 大阪大谷大学研修生 浅香加奈子

2. 「Shakespeare と Fletcher の合作における wh 関係詞 — 執筆分担の証拠としての可能性」

東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程 菊地 翔太

第二部 14:45～16:45

司会：茨城女子短期大学教授 内桶 真二

1. 「英語動詞の過去分詞形（‘-ed’ 形）における派生的意味変化

— concerned と involved の対比に基づく一考察」

青山学院大学非常勤講師 渡邊 丈文

2. 「自動詞と共起する have 完了形の変遷」

日本大学非常勤講師 秋葉 倫史

司会：静岡大学名誉教授 服部 義弘

3. 「Hiatus Breaker の再分析 — 普遍的 CV 音節構造と最適性理論の観点から」

宮城教育大学教授 西原 哲雄

講演 17:00～18:00

司会：京都府立大学名誉教授 米倉 綽

「近・現代英語期における焦点化副詞の用法の変遷 — just を中心に」

名古屋大学名誉教授 中野 弘三

閉会の辞 18:05～18:10

日本大学教授 塚本 聡

懇親会 18:30～20:00

会場：カフェテリア チェリー

近代英語協会事務局

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40

日本大学文理学部英文学科 保坂研究室内

協会ホームページ <http://www.modernenglish.jp/index.html>

電話：03-5317-9709（英文学科代表）

